



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2015年6月No.397

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』	会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 池田 聡美

Biblical Message of June

人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。』(マタイによる福音書7章1、2節)

セカンドベスト

藤原 正巳

・数日前「後期高齢者運転講習」を受けました。75歳を過ぎてからは2度目ですが、最初に受講させられたのが「認知症テスト」でした。先ず当日の年月日を聞かれ、その後、時計の絵を描いて指示された時間を長・短針で入れる問題が出されました。最後に16枚の絵を見せられ、何枚の絵を思い出したかの記憶テストがありました。小生は何とか13枚思い出しましたが、これについては少々疑問が残りました。若い頃には果して16枚全部を記憶できたのかということです。

・80歳に近付くにつれ、残念ながら体力の衰えは否めませんが、精神的な面の衰えにはかなり個人差がある様に思います。健康で気力が充実していれば、ベストとはいえませんが、高齢者といえどもセカンドベストの状態を保つことは可能ではないかというのが当日の結論でした。

June Club Meeting

『評価・計画』

6月第1例会

日 時：2015年6月17日(水) 18:45~20:45

場 所：ホテルグランヴィア大阪

司 会：松田 明久 君

- | | |
|--|----------|
| 1. 開会 | 芝田 光雄 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 松浦 孝次 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 芝田 光雄 会長 |
| 5. 今月の強調月間 | 芝田 光雄 会長 |
| 6. 晚餐 | 一同 |
| 7. 卓話「特許とボランティア奉仕～最新の状況」
アイシン精機株式会社機器の設計・開発担当
チャーターメンバー・中川 徹太郎さん | |
| 8. 連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9. 誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 10. 閉会 | 芝田 光雄 会長 |

お誕生日：6月=なし

例会担当：第1班 =大村、芝田、藤井、山田、山中の各メン

6月第2例会

日時：2015年6月24日(水) 18:30~20:30

場所：土佐堀YMCA会館4階



【クラブ統計 Statistics】

5月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 19名	メ ン	13名	11名	5月	0g
例会出席 15名	メネット	4名	0名	現 金	0円
うちメーキャップ	ビジター	0名	0名	累 計	
1名	ゲ ス ト	1名	0名	切 手	6,434g
出席率 84.2%	合 計	18名	11名	現 金	0円
					5月: 13,500円
					ファンド 0円
					累 計: 156,970円
					ファンド累計 9,000円

引き続いて、「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか」とあります。まず自分の目から丸太を取り除け。そうすればはっきり見えるようになる」と。ただただ納得です。

聖句選/コメント：松浦孝次

5月第1例会報告

と き：5月20日（水）18：45～20：45
と ころ：ホテルグランヴィア大阪

日中汗ばむなか、5月の例会をメン、メネット計19名が参加し、ホテルグランヴィア大阪で開催しました。

ハイライトは、東大阪市立総合病院の主任外科医の遠藤俊治さんのスピーチ。大阪大学で中村隆幸メンの後輩にあたる遠藤さんは、「特定非営利活動法人ジャパンハート」を通じてミャンマー、カンボジア、ラオスの医療活動に従事しています。その貴重な経験について話をうかがいました。2004年に設立されたこのNPOは、主に医療や外科的なサービスを行うために上述の3カ国に定期的に500名以上のボランティアの医師や看護師を送っています。

とても感動的なお話は、医師と看護師が不十分な医療施設で早朝から深夜まで、劣悪な生活条件の中で一生懸命働いているということ。彼らは、食品や住宅を除いて、自分たちの航空運賃と他のすべての必要経費を払って、これらの医療奉仕活動に参加しています。もちろん無報酬です。

これらの医療サービスに参加する彼の動機についての質問に及ぶと、驚くべきことに、遠藤さんは医療訴訟を恐れることのない医師と患者の相互信頼がそこにあるからだと言います。遠藤さんによると、日本では将来起こるかも知れない訴訟の準備の書類作成に仕事の50%を費やしているのに対して、ここではわずか25%の時間を毎日の手術のために費やすだけだと言います。彼のスピーチの後、熱心な質問の受け答えが続き、ニコニコ募金は13,500円集まりました。

(英文レターから)



東南アジアの医療の現場の様子を熱く語る遠藤さん

Club Activities (May, 2015)

On May 20, our club's May meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 19 Y's men, Y's menettes, and a Y'sling in attendance.

The highlight of the evening was a speech given by Dr. Shunji Endo, chief surgeon at the Higashi- Osaka City General Hospital. Dr. Endo who is a junior of Dr. Takayuki Nakamura of our club at the Osaka University, spoke about his valuable experiences of volunteer medical activities in Myanmar, Cambodia and Laos through "The Japan Heart Organization," a Non-profit Organization in Japan. Founded in 2004, this NPO sends regularly more than 500 volunteer doctors and nurses mostly to the above mentioned three countries to do medical treatments and surgical services.

We were deeply moved and touched with what he told us: The doctors and nurses worked so hard from early in the morning till midnight with insufficient medical facilities and in poor living condition. They participated in these medical service activities, paying their own air fares and all other necessary expenses except for foods and housing. No remunerations were given to them.

To the question about his motivation to participate in these medical services, Dr. Endo's reply was rather surprising: he said because there always exist mutual trust between doctors and patients without fear of medical litigation being raised there. According to Dr. Endo, he spends nearly 50 % of his working time for documentation in Japan in order to prepare for the possible litigation in the future, while only 25% time is used for his daily surgery work. Enthusiastic questions and answers followed between Dr Endo and audience after his speech. Yen 13,500 was collected for our club's smiling fund.



谷川 寛

エルサレムの旧市街の遠景に必ず登場する岩のドームは、エルサレムの旧市街のランドマークになっています。

写真上=ユダヤ人が祖国であるエルサレムを追われ、その後エルサレムを支配したのはローマ帝国でした。

ローマ帝国は最後にキリスト教を受け入れて、ビサンチン帝国に代わり、その後同地を支配したのはイスラム教徒でした。彼らが7世紀に建設したのがこの金色に輝く「岩のドーム」です。このドームには大岩が収められ、そこから預言者ムハンマドが昇天されたと伝えられています。そのドームのすぐ南側にはユダヤ教の「嘆きの壁」があります。ユダヤ教の昔の神殿の一部で、この壁しか残っていません。**写真下**=ダヴィデ、ソロモンが建てた神殿の跡地にイスラム教徒がこの岩のドームを建てました。このようにエルサレムは、世界の三大宗教の聖地です。

最初にユダヤ教が登場、そして、キリスト教が誕生。最後にイスラム教という順序です。従って、イスラムは、むしろ若い宗教です。これら三つの宗教は同根です。すべて一神教で、砂漠の宗教ともいえます。最近イラク戦争の後のイラクとシリアの空白地帯にスンニ派の過激派「イスラム国」と名乗る組織が登場。世界に衝撃を与えました。最初はISIS と呼んでいましたが、最近ではISIL (Islamic State of Iraq and the Levant) と呼ぶようになっていきます。

国家としては、誰にも承認されていません。本来のイスラムと異なり、彼らの振舞はイスラムを汚しており、一番悲しんでいるのは、イスラム教徒たちだ、とされています。



と き：5月27日(水) 18:30~20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：大村、芝田、中村隆、中村茂、藤井、藤原、何、松浦、三浦、山田、山中の各メン

報告/審議事項

- ① 西日本区大会と前夜祭の最終登録 5/31
当クラブ 17名(メン、メネット)
・12日前夜祭に向け、ハネリマカヒキウクレレ・合唱参加者とフラの最終練習は、6/6(土) 14:00~17:00、YMCAで。中西部フラ・ウクレレ MAIKAI クラブ(ハワイ語で「元気ですか」)。
- ② アジア大会参加者歓迎会(アジア大会終了翌日)
・開催日時：8月3日(月) 17時30分~19時30分
・開催場所：京都がんど二条苑。その他おもてなし
- ③ 西日本区年次代議員会 6/13 10:15~11:30、住之江区ATCで
- ④ 第5回中西部評議会 6/27 14:00~16:30、YMCA302号室。終了後、徐園で懇親会。
- ⑤ ネパール地震復興支援金 YMCA 募金について、中西部に意向を確認。
- ⑥ 8月、西クラブとの合同例会(ホテルクライトン)
(BACKWOODS MOUNTAINEERSの演奏あり)
8/23(日) 12:30受付。13:00~15:00
会費：4,000円(料理3,500円。乾杯用500円)
追加の必要な人は別途500円。80名。
- ⑦ メネット会 7/1 11:45~14:00
場所：Restaurant & Lounge

(議事録より抜粋)

来期クラブ運営に向け

キックオフミーティング開催！！

5/31、山西福祉記念会館で、来期クラブ運営方針について、14名のメン、メネットが集まり検討会が行われました。まず、芝田会長の司会のもと、今期の反省を各役員が述べた後、次期会長何メンの司会で次期運営の方針が出されました。ウクレレクラブ誕生の足場をつくり、きめ細かい配慮で見事な運営をしてきた芝田会長の後を受け、若さあふれる活動的な事業を打ち出す何次期会長に、また大きな期待が寄せられました。終了後は懇親会を開き、夢がふくらむなか散会しました。



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《会員、メネットからのメッセージ》

○自分の日常にも通じた話が多く、生徒や保護者と向き合う時間、関わる時間の大切さを改めて感じました。有難うございました。
(池田 聡美)

○日本は恵まれた中で診療を受けられて幸せですが、世界が同じようになる時期が早く来ればよいと思います。

(石津 雅人)

○遠藤先生の貴重な体験のお話を聞くことができ、東南アジアでの医療の貧しさを考えさせられました。

(大村 肇)

○自らの手で人を助けることができるお医者さんという仕事を改めて尊敬致しました。

(岡本 剛介)

○東南アジアの医療状況がよくわかりました。

(坂本 哲朗)

○海外の人のために自分を生かすことを実際にされている遠藤先生のようなお医者さんがいらっしやるのがとても感激です。

(坂本 千春)

○遠藤先生所属のジャパンハート医師団は、全くのボランティアとお聞きし、大変感銘を受けました。発展途上国へのご奉仕に頭が下がりますし、日本の誇りです!!

(芝田 光雄)

○ミャンマー、カンボジア、ラオスの医療の現場と日本との違いに驚きました。貴重な話を有難うございました。

(隅田 恵子)

○ミャンマーの手術の様子が分かりました。興味深く聞かせて頂きました。

(中村 幸枝)

○医療に恵まれない東南アジア3国でのボランティア医療活動、本当にご苦労さまです。しかし、遠藤先生はじめ多数の日本の医師、看護師が現地でボランティア活動をされておられる真の理由が、日本における医師と患者の信頼関係の崩壊にあるとお話は大変ショッキングでした。医師・患者の関係が1日も早く正常化され、医療現場での信頼関係が再び取り戻されることを強く願っております。

(藤原 正巳)

○東南アジアと日本の医療事情の違いを聞くことができ勉強になりました。日本の医師によるボランティア医療活動にとっても感心しました。

・8月に家族でハワイ旅行を計画中です。(何 早林)

○遠藤先生を通じて、アジアの豊かでない医療の現実と、人々の生活ぶりを勉強させて頂いた。我が国との大きな格差に驚く。これからのアジア(特に貧困な国)はどこへ向かうのか…と考えさせられる。

(松浦 孝次)

○遠藤俊治先生の東南アジアでの医療活動のお話、興味深く拝聴致しました。

・西日本区大会前夜祭のウクレレ演奏に向けて練習の必要性を痛感しています。

(三浦 直之)

○最近“神戸土曜会”というコーラスグループに属して「聖歌」を中心に練習を楽しんでいます。気分も若返り、心身ともに元気な時が持てる日々です。

(山田 孝彦)

☆第266回早天祈祷会

日時：6月19日(金) 7:30~8:30

場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル

証し：安田 哲也さん(日本基督教団 東梅田教会・奏楽担当)

☆創立記念礼拝

日時：6月6日(土) 13:30~14:15

場所：大阪YMCA会館 10階 チャペル

奨励：日本基督教団 天満教会 春名康範牧師

☆大阪YMCA活動報告会

日時：6月6日(土) 14:30~16:00

場所：大阪YMCA会館 9階903号室

内容：活動報告(各事業現況、新規事業、Yボランティア等) グローバルリーダーシップ養成プログラム等

※創立記念礼拝、活動報告会にご出席いただける場合は、下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

【お問い合わせ】大阪YMCA本部事務局 担当：田宮・前田・美濃出

TEL：06-6441-0894 FAX：06-6445-0897

E-mail: info@osakaymca.org

☆グローバルユースファンド

～里親支援・ボランティアのお願い～

大阪YMCAは、時代を変革するグローバルユースを育てる目的のため、毎年多くのインターンを受け入れています。インターンはアジアの国々に加え、アメリカ本土、ハワイ、コロンビア、オーストラリア、ドイツ、シンガポールなどより幅広く受け入れる予定で、大学生を中心に世界各国の若者が来日し、大阪YMCAのキャンプ施設や幼稚園、学校等で様々な事業活動を体験します。

インターンの滞在期間中の住居および食費については、YMCAおよびホストファミリーの方々のご協力により本人負担はありませんが、着任の渡航費用と個人費用は本人の負担となっています。

このたび、個々のインターンを支援して下さるサポーター(里親)やボランティアを募集いたします。大阪YMCAの取り組むグローバルユース育成プログラムにご理解くださり、ご協力・ご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

*詳細については、別途パンフレットをお配りいたします。

(池田 聡美)

後記

○永良部島の噴火に、地震と、心を休める暇もない日本。その中で、今のセンテニアルクラブがとっても熱い。高ぶる精神の躍動の予感がします。さあ、明日に向かってまた一歩歩み始めましょう!

S.N